

自分で決める人生の終い方

～私の生き方連絡ノートを活用して～

自分の死について考えることは、どのように生きていのかについて考えることでもあります。突然の事故や病気、認知症などで自分の判断力がなくなったとき、家族や周りの人が困惑しないように自分の考えを残しておきましょう。

「私の生き方連絡ノート」を使いながら、自分らしい「生き」「死に」を考える会 代表 渡辺敏恵氏にお話を伺います。



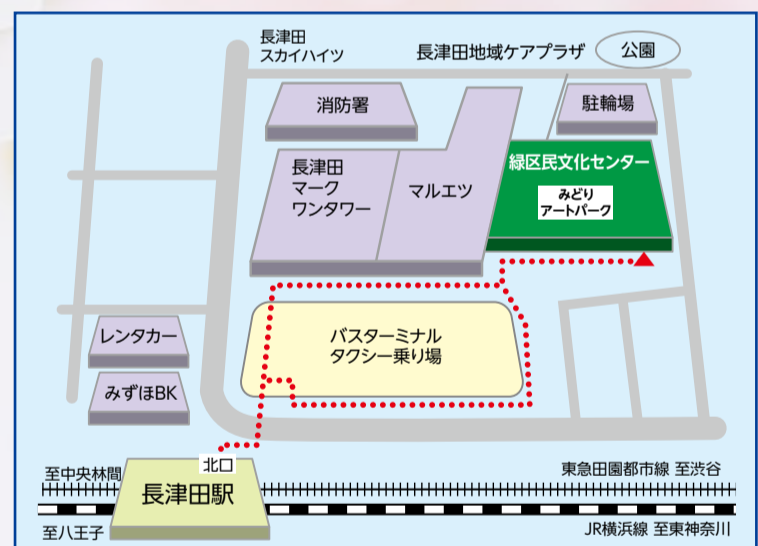
平成28年**5月21日(土)** 14:00～16:00 (開場 13:30)



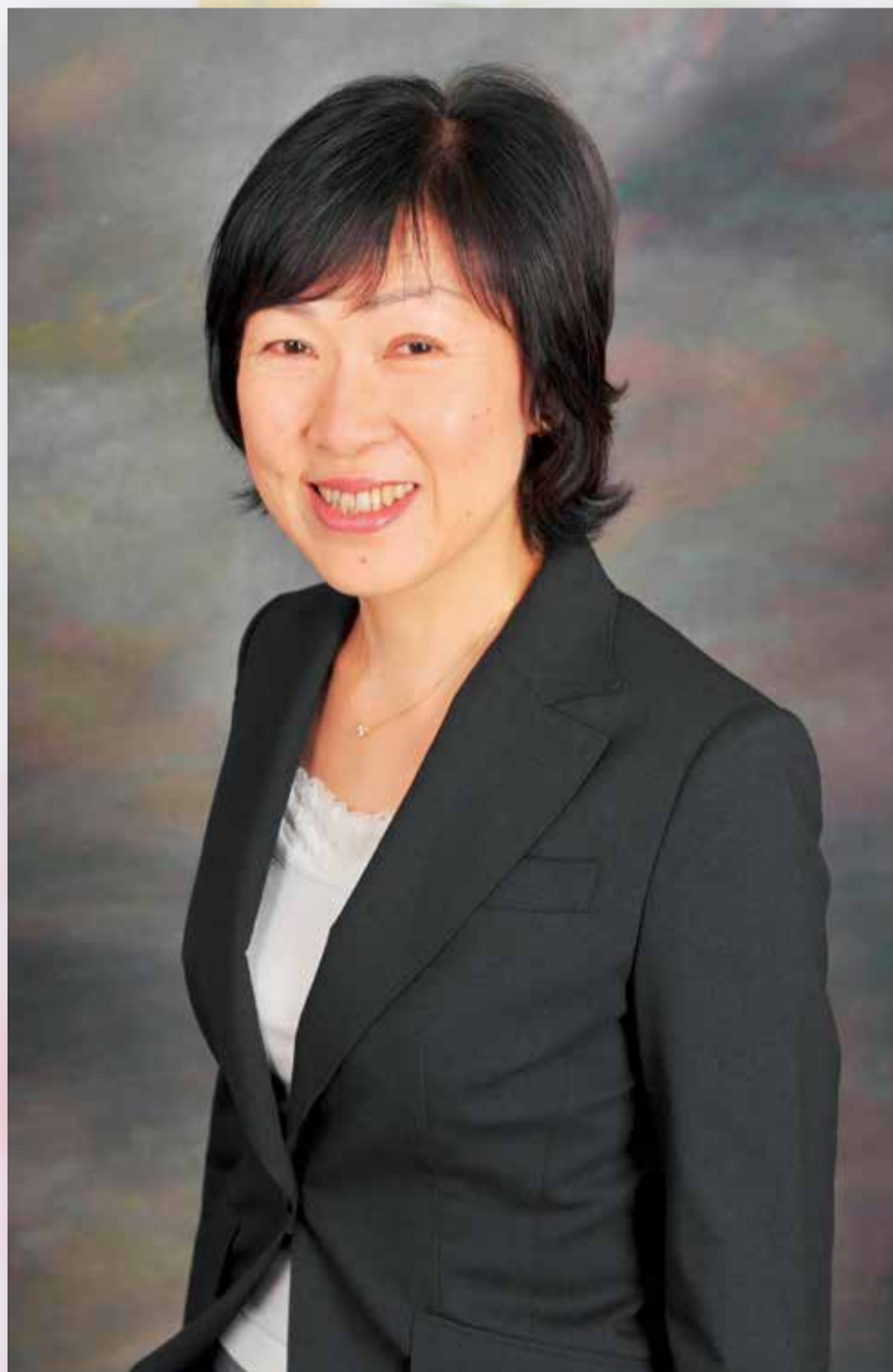
みどりアートパーク (緑区民文化センター)

♡ 入場無料

定員200名、申込み不要、先着順



JR 横浜線、東急田園都市線・こどもの国線
長津田駅北口から徒歩4分。



渡辺 敏恵 氏

東京女子医科大学 医師
自分らしい「生き」「死に」を考える会 代表

PROFILE

東京女子医科大学卒業／内科専門医／医学博士／現在は同大学第一内科非常勤講師
療養型病院で経験したことをきっかけに臨床死生学を学び始め、自分らしい「生き」「死に」を考える会を2008年に立ち上げ代表となる。私の生き方連絡ノートを提案している。高齢社会をよくする女性の会(樋口恵子理事長)の理事も務めている。

【主催】 緑区在宅医療相談室・横浜市緑区医師会

【後援】 緑区役所 【問合せ】 緑区在宅医療相談室 電話 045-937-2303